

## 第1回『運営委員会』議事録

日 時：平成30年02月26日(月曜日)13時15分～16時00分

場 所：関東：ISS 東京本社会議室、関西：ISS 大阪支社

出席者：(関東)有岡理事長、中村副理事長、鈴木副理事長、神委員、足立委員、丸山委員、井元委員、相澤委員、塚原委員、横塚委員、中川会員、岩佐会員

(関西)山中委員、蟲明委員、岩下委員(スバル興業(株)大阪)

欠席者：宮下事務局長、福手委員

(議事内容)

1. 運営委員新任・退任紹介：中村副理事長

- ・ 新任運営委員・・・井元 泉氏 (IHI 顧問)、相澤正司氏(スバル興業(株)東京)、横塚雅実氏(元鹿島建設)、岩下氏(スバル興業(株)大阪)、塚原健一氏(株イモア相談役)
- ・ 退任運営委員・・・小谷義博氏(体調不良：休会中)

2. 運営方針：中村副理事長

- ・ 「関わるNPO/稼ぐNPOを目指し」 資料：1 (3葉)
  1. SLIM Japan-使命と機能
  2. なぜNPO組織なのか?
  3. SLIM Japan の人材
  4. 関わるNPO/稼ぐNPO
  5. 社会的価値の創出
  6. 組織体制の改変

(意見交換)

- ・ 「SLIM Japan-使命と機能」について中村副理事長が現時点での解釈をまとめる。
- ・ 「関わるNPO/稼ぐNPOを目指し」についても1枚の図にまとめる。

(以上、中村副理事長より)

3. 会員の支援事業参画可能性 …… 井元委員 資料：2 (4葉)

1. 参画可能な分野
2. 会員参画の可能性は??
3. 必要な費用(対価)：必要な費用資産参照
4. 具体的事例

(意見交換)

- ・ SLIM Japan の活動費として、まず 200 万円程度を得ることを目指している。  
(日当 10,000 円/人日×300 日×2 人=600 万円 30%を SLIM Japan へ)
  - ・ 会員のアイセイより業務受託の可能性がある。
  - ・ 具体的には、①現場での指導、②点検結果の台帳を確認し判定する業務、③社員へ現地調査前の指導助言などが考えられるが、対応可能な人材は限定される。
  - ・ アイセイからの受託だけではなく、公共性を意識した活動も求められる。
  - ・ 公共性を考慮すると、橋梁点検協会の設立母体を目指すことが考えられる。SLIM Japan の活動として、インフラメンテナンス産業の確立を目指してはどうか。
  - ・ 協会設立の場合は、立ち上げを急いだほうが良い。(早い者勝ち)
  - ・ 小規模自治体へのアンケート結果では、技術者不足で困っているので外部へ頼みたいという回答が多かった。
  - ・ 通常の診断業務は点検及び診断であるが、今後は補修工事の技術的アドバイスまで一括して求められる。「医者」に相当する技術者が不足している。
  - ・ 会員の活動において、技術士などの公的資格がないと、名前は出せず裏方での指導になる。
  - ・ 会員の具体的な活動として、民間会社の診断のお手伝い、自治体のアドバイザー、講習会や講演会の講師などが考えられる。
4. JFMA 協働事業インフラマネージャー講座事業の協議：中川会員 資料：3 (6 葉)
- ・ 認定ファシリティマネージャー (CFMJ) 資格の「資格登録更新講習 B 方式」のポイントを取得できる講習会を開催している。
  - ・ 年間 30 回程度開催するが、そのうち 5~6 テーマについて、SLIM Japan 会員が講師として参加していただきたい。講師料は 13,000 円程度。3 月中に枠組みが決まるので早急に検討をお願いしたい。(以上、中川会員より)
  - ・ 早急に候補者を会員より 10 名程度選出する。
5. 話題提供・・・ CNCP 事業化検討部会「南房総 CCRC 事業研究会」：神委員
6. その他 インフラメンテナンス国民会議の活動と近況 資料：4 (1 葉)
- ① 地方フォーラムへの取組み拡大と SLIM Japan の関わり・・・中国フォーラム事務局の参画の応募はしている。
  - ② 技術者育成フォーラムの活動の中で提案の新しいスキームでの橋梁点検支援の活躍の可能性は高い。  
例 岡山市、岡山工業高校で道路パト隊の継続活動のスキル向上ステップとして支援する。(中国地方フォーラムとして自治体に展開)

以 上